

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551
花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!



ふかや学校花はなプラン ～地域で子どもを育てる～

学校花はなプランとは、学校だけでこどもの教育をするのではなく、地域で将来の日本を担うこどもを育てられるよう、こども・学校・PTA・地域が、一緒になって花壇づくりを行う活動です。
市内小・中学校、幼稚園の皆さんのご協力で、花壇づくりが行われています。



▲常盤小学校



▲本郷小学校



▲川本南小学校



▲上柴東小学校



▲深谷中学校



▲花園中学校



▲南中学校



▲深谷西幼稚園



▲おかべ幼稚園

『どじょうのつかみどり体験』参加者募集

ふかや緑の王国内の『ふかや村』の小川でドジョウを捕まえよう!

対象 中学生以下(保護者同伴)

とき 9月6日(土)午前10時～11時

ところ ふかや緑の王国 定員 20人(抽選) 参加料 500円

申し込み 8月13日(水)午前9時から18日(月)午後5時までに下記QR

コードからアクセスして電子申請

※1回の申し込みで2人まで

※電子申請ができないかたは電話で申し込み可

※ぬれてもよい服装でお越しください



▲昨年度の体験の様子



手話 de おはなし



手話に興味はあるけど難しそう…そんなかたも、身近なところからチャレンジしてみよう!
(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)

デフリンピック



親指と人さし指で輪を作って重ね、
上下を反対にしてもう一度重ねる。

選手・アスリート



親指を伸ばした右手を開いた左手の甲に打ち下ろし、
左へ跳ね上げる。

※デフリンピックは国際的な『ろう者のためのオリンピック』で、11月に日本で初めて開催されます。

図障害福祉課 (☎ 571-1011・FAX 574-6667)

家を守った千代さん



栄一の妻「千代」は、天保12(1841)年、榛沢郡下手計村に尾高勝五郎と八重の三女として生まれました。当時、女子の学問教育は必要とされていませんでしたが、兄の博識から、人として守り、行すべきことをよく聞かされて育ちました。
千代は、17歳の冬に栄一と結婚し、文久2(1862)年2月、待望の長男市太郎が誕生しましたが、8月に麻疹で亡くなってしまいました。翌年8月、長女歌子が生まれ喜んだものの、11月に栄一はいとこの洪沢喜作と家を出て行くことになりました。血洗島を出た2人は京都で一橋慶喜に仕官し、その後、幕臣となり、栄一は慶

喜の弟、昭武のお供でフランスへ渡ります。栄一が留守の間、千代は家をよく守り、しゅうとの市郎右衛門、しゅうとめのおい、小さな歌子と、夫の帰りを待ちました。
明治元(1868)年、栄一は無事に帰国し、血洗島へ一時帰り、父の市郎右衛門へ土産代わりに金百両を差し出しました。市郎右衛門は、「千代が多くのお悩み事を堪え忍んで、実にまめめしく私たちに仕えてくれた。口こそ出さなかつたが、いつも大変うれしく思っていた。それ故、これはその褒美と思いたい。」と、千代に百両を手渡しました。千代は、百両よりもこの言葉を有難く感じ、涙しました。
栄一が政府の役人、第二国立銀行の頭取になると、生活も東京に移ります。深川福住町へ屋敷を新築する時は、木材運びや建物の様式に千代の趣味が生かされ、家具も千代が整えました。この家は、数回の移築を経て、現在は東京都江東区潮見で、時を超えて受け継がれていきます。



▲栄一の妻「千代」